

2008 支局 この1年

▷ 8 ◁

吉野川・竹内 仁志

吉野川市美郷地区で、

が奮闘中だ。

健康増進を売りに観光振

プロジェクトは約二年

食事健康法の一つマクロ

美郷の住民が見せる活

込めている。

つながった。

最初の年は、菓草の専門家
の村上光太郎、崇城大
学教授らを招いた勉強会
などを開催。今年に入っ
て▽山菜イタドリ、のジュ
ー、スや青梅の重製烏梅な
れ、来年以降の商品化に
と新特産品の販売開始▽
期待が高まっている。

過疎防止へ動き活発

「キレイのさと美郷」プロジェクト

体的に動き

始めた。全

国内的に注目される上勝町

前、美郷商工会を中心に

ビオティック料理を美郷

ある」とみる。

の彩のように、過疎高齢

始まった。美郷の食品や

流にアレンジした農家レ

特産の青梅の価格が十

化の進む地域に現金収入

料理を食べて、豊かな自

ストランの開店▽県が認

年ほど前から低迷し、農

を生み、活性化につなげ

然を満喫することで、

定するとししま農林漁家

家の生活は大打撃。四年

られるか。美郷では若手

「心身ともに健康になっ

民宿の第一号、二号認定

前の町村合併以降、小学

と呼ばれる五十、六十代

てもらおう」との思いを

一など、具体的な動きに

校一校が休校し、地区唯

発な動き。商工会の高木

義夫経営指導員は「背景

に地域衰退への危機感が

ある」とみる。

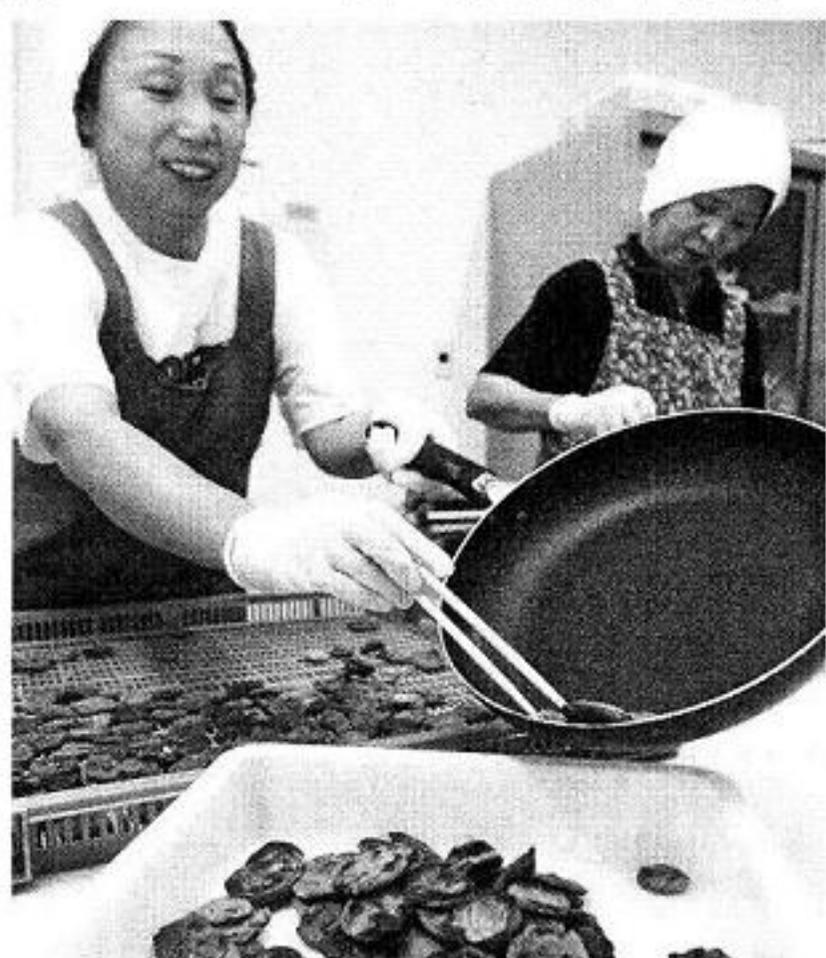
一的美郷中学校は二〇一

〇年度末の休校が決まっ

た。市役所美郷庁舎も庁

舎一本化で縮小、または

廃止される見通しだ。



梅干しを使った新しい特産品を作る
梅農家＝8月、吉野川市美郷

は多く、まだ道半ば。た
だ現段階でも、プロジェ

クトへのマスコミの取材

や県内外からの視察で、

美郷の注目度は高まって

おり、住民の気持ちを明

るべく、前向きにしてい

る。